

## 第4章 具体的施策の展開

### 基本目標1 スポーツによる地域コミュニティの活性化

#### (1) 誰もがスポーツに取り組める環境づくり

##### ①子どものスポーツの推進

子どもの頃から身体を動かす楽しさなどを感じる運動習慣を身に付けることで、大人になっても運動を続ける動機づけになります。幼児期・低学年時から身体を動かす遊びや様々な種目の運動に親しむ機会を通して、運動習慣形成に取り組みます。

##### ア 幼児のスポーツ体験機会の充実

姫路市スポーツ祭やスポーツ推進委員会の主催イベント等において、親子で参加できるイベントの充実に取り組みます。また、スポーツ施設の指定管理者による自主事業として、親子向けのイベントを継続していきます。

##### イ 小学生のスポーツ体験機会の充実

競技団体と連携したスポーツ教室や、姫路を拠点とするトップチームの選手等によるトップアスリートスポーツ教室を開催し、スポーツへの参加・継続を促します。また、ひめじスポーツコミッションが実施する、小学校低学年を対象とした「スポーツ探検隊」を継続し、様々なスポーツに触れる機会を提供します。

##### ウ 中学校部活動の地域移行

「姫路市中学生スポーツ・文化芸術活動推進計画」に基づき、教育委員会、学校や関係団体等との連携・協働のもと、令和8年度（2026年度）から新たな地域クラブ活動「姫カツ」を展開します。少子化が進む中でも、活動を担う実施団体及び指導者を確保し、将来にわたって中学生がスポーツに継続して親しむことができるよう持続可能な体制づくりに取り組みます。

##### エ 教育委員会等との連携

競技力の向上や勝利だけを求めるのではなく、幼児や児童、生徒一人ひとりの「得意」や「好き」を尊重できるような体育の授業や、食育の充実、運動の習慣化などに向けて、教育委員会との連携を図ります。

##### オ 地域スポーツへの参加

子どもが安全に身体を動かせる場所として、小学校の運動場や体育館の有効活用を図ります。終業後や休日に体育館等を無料開放し、子どもの貴重な運動スペースとして活用します。また、スポーツクラブ21やスポーツ少年団への参加促進など、楽しみながら体力の向上が図れるよう、地域と連携した取組を進めます。

## ②成人のスポーツの推進

スポーツをする時間の確保が難しくなる社会人にとっては、いかに気軽にスポーツに関わることができるかが重要です。生活の中に無理なくスポーツを取り入れて、継続し、日常化させる機会を提供します。

### ア ウォーキングマップの更新

手軽に始められる運動の機会を提供するため、既存のウォーキングマップを更新するとともに、校区の枠にとらわれない「実際に歩きたくなる」コースの設置を検討します。また、定期的に行っている市民歩こう会では、歩いた距離によりメダルを授与するなどの取組を継続します。

### イ 市民体力テスト会の実施

自分の体力を数値で確認できることで、自身の健康状態を客観的に把握できます。また、運動の必要性を実感し、健康増進への意識が高まることから、市民体力テスト会を継続して実施し、スポーツに取り組むきっかけづくりに努めます。

### ウ 働く世代・子育て世代等が参加しやすいイベントの開催

スポーツ推進委員が主体となって開催している男性ソフトボールのつどい、女性バレーボールのつどい等、全市レベルの大会を継続するとともに、働く世代に届くような情報発信に努めます。また、企業に対して、成人の健康維持や体力向上の必要性について働きかけることで、働く世代の運動機会の確保を図ります。

子育て世代に対しては、姫路市スポーツ祭のスポーツ体験会等のイベントにおいて、子どもと一緒に身体を動かし、スポーツの楽しさを感じられるようなプログラムの提供などに取り組みます。

### ③高齢者のスポーツの推進

高齢期においてもスポーツに親しむことで、心身の健康維持、生活習慣病やフレイルの予防、介護が必要となるリスクの低減などが期待できます。関係機関・団体とも連携しながら、高齢者がスポーツを楽しむ機会を提供します。

#### ア 高齢者を対象にした大会の開催

高齢者スポーツ大会を開催し、心身の健康の保持を図るとともに、参加者同士の交流を通じた生きがいづくりを支援します。

#### イ 高齢者を対象にした教室の開催

簡単な動きで誰でも気軽に行える体操として、「生涯現役ガンバルンバ体操&サプライズ健康教室」を開催していきます。

#### ウ 生涯現役地域活動助成事業の実施

校区老人クラブが主体となって実施する、高齢者の健康づくりの活動に対して、その活動経費を一部助成し、健康の増進や、社会参加の促進、生きがいづくりを支援していきます。

#### エ 指導者養成講習会の実施

指導者養成講習会を定期的で開催し、高齢者でも気軽に取り組めるユニバーサルスポーツの指導者を育成するとともに、高齢者が安心してスポーツに取り組める環境の拡充に努めます。

#### ④障害者のスポーツの推進

ノーマライゼーションの考え方にに基づき、それぞれの障害の種別や程度、体力に合ったスポーツに取り組めるよう、環境を整備していく必要があります。障害の有無にとらわれないスポーツ交流の場を提供し、障害者がスポーツに親しむ機会の充実を図ります。

また、ユニバーサルスポーツの楽しさや競技性の高さがより広く認知されるよう、きっかけづくりに努めます。

##### ア 障害者スポーツ競技会（ボッチャリーグひめじ）等の実施

ボッチャを競技・体験する場として、引き続きボッチャリーグひめじを開催します。また、障害者スポーツ体験推進事業として出張型のボッチャ体験会を実施し、移動が困難な障害者のスポーツ体験を充実させます。また、市内在住又は市内の障害福祉サービス事業所を利用している障害者等を対象にした障害者ジョイフルスポーツフェアを実施していきます。

##### イ 施設のユニバーサルデザイン化の推進

障害のある人がスポーツ施設を安全で安心して利用できるよう、スロープや多目的トイレ、障害者専用駐車場を拡充します。また、介助者がいなくても、障害のある人が一人でスポーツ施設を利用することができるよう、施設のユニバーサルデザイン化を推進していきます。

##### ウ ユニバーサルスポーツの充実

スポーツクラブ21の主催イベントで様々なユニバーサルスポーツを取り入れた企画を提案し、障害の有無にかかわらず、誰もが親しめるスポーツ活動を通じた交流及び共同学習の機会の充実を図ります。

また、姫路市スポーツ祭のスポーツ体験会等の市主催イベントにおいてもユニバーサルスポーツを積極的に取り入れます。

##### エ ユニバーサルスポーツを支える人材の確保

指導者不足が課題となっていることから、市主催の指導者養成講習会でユニバーサルスポーツを取り上げるなど、指導者の養成に努めます。

また、障害のある人がスポーツをするためには、会場の設営やスポーツ用具の準備などを行うスタッフも必要となることから、地域のスポーツ団体・チームや大学等と連携し、人材の確保に努めます。

## (2) 地域スポーツの活性化

### ①地域に根ざしたスポーツの振興

スポーツクラブ21等が実施する地域スポーツは、誰もが参加できる、最も身近なスポーツ活動の場として重要な役割を担っています。地域スポーツが活発であることや、地域スポーツに関する情報が住民に提供されていることは、生涯スポーツの推進にとって重要であり、地域コミュニティの活性化にもつながります。

地域スポーツの裾野を拡大し、地域の実情に応じたスポーツ活動が展開されるよう、スポーツ推進委員や関係機関・団体との連携強化を図ります。

#### ア スポーツ推進委員等との連携

スポーツ推進委員は、スポーツ講習会や大会の企画や運営、指導などを通じて、地域住民にスポーツの楽しみ方を伝授しており、地域スポーツの発展にとって欠かせない存在です。スポーツ推進委員やスポーツクラブ21と連携・協力して地域住民を対象としたイベントの開催に取り組みます。

#### イ 地域スポーツ振興事業の実施

従前に市が生活体育振興委員会に委託してきたスポーツ事業を、平成18年度(2006年度)から「地域スポーツ振興事業」としてスポーツクラブ21(全71クラブ)に委託し、バレーボールやソフトボールの大会や練習会等のスポーツイベントを校区単位で実施しています。校区の全住民を対象とした事業であり、今後も地域スポーツの中核を担う事業として実施していきます。

#### ウ スポーツ少年団との連携

スポーツ少年団は学校運動部活動とは異なり、地域住民がボランティアとして指導者を務めるなど、地域に密着した住民主体のスポーツ活動組織です。近年では、指導者、参加団数ともに減少傾向となっていますが、今後、中学校部活動の地域移行の動向を踏まえ、小学生だけでなく中学生を含めたスポーツ活動の場にもなるよう検討していきます。

## ②スポーツクラブ21の活性化

「スポーツクラブ21ひょうご」は、地域住民により自主的・主体的に運営される多目的・多世代参加型のスポーツクラブです。本市においては小学校区ごとに設置されており、地域スポーツ活動の中核を担い、スポーツ人口の裾野の拡大に大きく寄与しています。スポーツクラブ21が、地域住民にとって最も身近なスポーツの場であり続けるよう、主催イベントの開催などを通じて活性化を図っていきます。

### ア スポーツクラブ21主催イベントの開催

バドミントンやグラウンド・ゴルフ等のブロック交流大会等のイベントを継続・拡充します。また、地域住民がスポーツクラブ21のイベント運営に主体的に関わることは、地域コミュニティの醸成にも大きく寄与します。

高齢者や障害者でも参加しやすいユニバーサルスポーツの大会開催や、子育て世代や働く世代といった運動機会が少ない層をターゲットとしたイベントを重点的に支援し、より多くの市民が参加できる機会を創出します。

第2章のアンケート調査において、スポーツクラブ21の『活動内容を知っている』は3割未満となっていることから、イベント等を通じてクラブの認知度を高め、新規会員の獲得や地域交流の活性化につなげていきます。

### イ 小学校体育施設開放事業の実施

放課後や学校の休日において、小学校の体育館や運動場は、スポーツクラブ21の主な活動場所となっています。より利用しやすくなるよう校区間の連携を密にし、空きがない校区の利用希望者をほかの校区で受け入れるなど、小学校体育施設開放事業の充実を図り、スポーツクラブ21の活動を支援してきます。

### ウ 指導者の育成

指導者の高齢化が進む中で、若手指導者の発掘・育成は喫緊の課題です。スポーツクラブ21連絡協議会や姫路市スポーツ協会等との連携を密にし、指導者資格取得のための研修会・実技講習会に関する情報発信や開催に努めます。

### (3) スポーツを支える人材の育成

#### ①生涯スポーツを支える人材の育成

生涯スポーツの推進にあたっては、市民一人ひとりのライフステージに応じて、スポーツに親しめる環境を整備していくことが重要です。講習会等を通じて、年代や目的に合わせた多様な指導者を育成していきます。

##### ア 指導者養成講習会の実施

生涯スポーツの普及と促進を図るため、スポーツ推進委員やスポーツクラブ21関係者等を対象に、様々なスポーツの体験講習会を実施しています。今後も、新たなスポーツを積極的に取り入れながら、事業の充実を図ります。

##### イ 市民スポーツ大学講座等の実施

競技団体指導者、スポーツ推進委員、スポーツクラブ21関係者、学校体育関係者等を対象に、外部講師を招へいして講義形式の研修会を開催します。中学校部活動の地域移行やハラスメント問題等、地域スポーツ活動の指導者が身につけておくべき知識や考え方を学ぶ貴重な機会として継続し、指導力の向上を図ります。

#### ②スポーツ・インテグリティの確保

スポーツ・インテグリティを確保することで、スポーツの本来の価値や魅力を維持し、スポーツへの信頼と支持につなげます。

##### ア スポーツ指導者への普及・啓発

市民スポーツ大学講座において、暴力行為・ハラスメントの根絶や、アンチ・ドーピング対策などをテーマとした講習会を実施するなど、地域スポーツの指導者等に対してスポーツ・インテグリティの普及・啓発を図ります。

##### イ 市民への普及・啓発

青少年の健全育成はもちろんのこと、将来、競技スポーツの道に進む子どもたちが、ドーピングや八百長、違法な賭博行為に巻き込まれることがないように、学校教育やスポーツイベント等を活用して、スポーツ・インテグリティを周知し、不正を許さない風土の醸成を図ります。

## (4) スポーツを楽しむ機会の創出

### ①スポーツ施設等の有効活用

本市は 30 か所以上のスポーツ施設を有し、維持管理を行っています。また、小学校 69 校（義務教育学校 3 校を含む）の運動場や体育館を、学校教育に支障がない範囲で、地域住民に開放しています。今後も、各施設のさらなる有効活用を図ります。

#### ア 指定管理者による施設管理・運営

多くの市立スポーツ施設では、指定管理者制度を導入しており、指定管理者となった民間事業者が施設の管理や運営を行うことで、利用者目線に立った対応や自主事業等も含めた質の高い運営を実現しています。今後も、施設利用者アンケート等を継続して実施し、利用者ニーズを反映した施設運営を行います。

#### イ キャッシュレス決済の拡充

スポーツ施設窓口でのキャッシュレス決済を拡充し、施設利用の利便性向上を図ります。

#### ウ 小学校体育施設開放事業の実施

施設利用を平準化し、より多くの市民がスポーツ施設等を利用できるよう、今後も放課後や土日等の空き時間に小学校の体育館や運動場を地域に開放して、身近なスポーツ活動の場を提供していきます。

#### エ 中学校屋外運動場夜間開放事業の実施

働く世代など日中の施設利用が難しい層のニーズに応えるため、今後もナイター照明設備を備えている市立中学校 3 校の運動場を夜間に開放し、地域住民のスポーツ活動の場を提供していきます。



## ②全市スポーツイベントの開催

世代や競技レベルを問わず、誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを開催するとともに、より多くの人に参加したくなるようなイベントを検討します。

また、各競技団体等と連携しながら、市民スポーツ大会等の充実を図ります。

### ア 姫路市スポーツ祭の開催

毎年スポーツの日（10月第2月曜日）に開催している姫路市スポーツ祭は、姫路市スポーツ協会の加盟団体による行進、功労者等に対する表彰のほか、全市民を対象としたスポーツ体験会等を実施しています。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が参加しており、市民がスポーツに興味を持つきっかけづくりや、ユニバーサルスポーツが体験できる機会として重要な役割を果たしています。体験種目数の増加など、今後さらに拡充を図ります。

### イ 世界遺産姫路城マラソンの開催

姫路城マラソンは、本市を代表するスポーツイベントとして定着し、市内外から多くの参加者を集めています。スポーツを楽しむ機会と地域の活性化を両立したイベントであることから、持続可能な大会運営を目指します。

### ウ 市民スポーツ大会の開催

多数の市民がスポーツ活動に参加することにより、健康維持や体力の増進、競技力の向上を図ることができるよう、各種目競技団体と連携して市民スポーツ大会を継続実施します。

## 基本目標２ スポーツによるまちの賑わいの創出

### (1) スポーツ資源を活かしたまちの賑わいづくり

#### ①スポーツの実施促進に向けた情報発信

競技者や日頃からスポーツに取り組んでいる人は、競技成績や大会の情報に非常に高い関心を持っています。適切な情報発信により必要な情報を提供することは、競技力やスポーツ実施率の向上につながるだけでなく、あまりスポーツをしてこなかった人たちがスポーツを始めるきっかけにもなります。

近年では、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下「SNS」という。）や動画配信などによる情報発信が急速に普及し、膨大な情報の中から必要な情報を効率的に入手することが重要な時代となっています。この時代の流れを踏まえつつ、より多くの人に「する」スポーツのための情報を届けられるよう、情報発信の方法を検討します。

##### ア ひめじスポーツコミッションによる情報発信

ひめじスポーツコミッション公式ホームページにおいて、本市や近隣市町で行われるスポーツイベント等の情報を一元管理して提供しています。さらに、より効果的な情報発信ツールとしてSNSを導入し、市内で開催されるスポーツ大会や市民が出場するスポーツ大会等の情報を発信します。

##### イ 広報誌・ホームページ等による情報発信

従来の紙媒体やホームページによる広報を継続しつつ、情報の受け手を常に意識し、デジタル化に対応した情報発信を行います。

##### ウ スポーツ表彰の情報発信

大会で一定の成績を収めた選手や団体等の功績を称える制度として、市民のスポーツへの関心と意欲を高め、スポーツ実施を促進する役割を担っています。今後、受賞者の功績を広く周知します。

## ②スポーツに関わるきっかけづくりのための情報発信

これまでスポーツに関わりを持ってこなかった人の中には、スポーツをするのが嫌い・苦手だと感じている人もいます。スポーツは「する」だけでなく、「みる」「ささえる」といった関わり方もできます。より多くの方がスポーツに関わりを持ち、健やかな生活を送るためのきっかけとなる情報を発信していきます。

### ア 大規模スポーツ大会・イベントの情報発信

より多くの人に興味を持ってもらえるよう、トップチームや大会主催者と連携し、大規模大会やスポーツイベントについて、ひめじスポーツコミッションのホームページに掲載するなど、「みる」スポーツのきっかけを提供します。

### イ トップチームに関する情報発信

本市を拠点に活動するトップチームによるスポーツ教室やホームゲームの開催情報を発信することで、市民が一流アスリートとふれ合う機会を提供するとともに、トップチームの活動支援など、「ささえる」スポーツの推進に努めます。

## ③大規模大会・スポーツイベントの開催促進

大規模大会・スポーツイベントの誘致や開催支援、実施を通して開催を促進し、スポーツ資源を活用した交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげます。

### ア ひめじスポーツコミッションによる誘致

ひめじスポーツコミッションを核として、各競技団体や関係機関と連携しながら大規模スポーツ大会等の誘致を行います。

### イ スポーツイベントの開催支援

全国大会や、トップアスリートを招へいしたスポーツイベントの主催者等に対し、スポーツイベント開催補助制度の周知を図り、運営に際しての経費の一部を補助することで開催を支援します。

### ウ パブリックビューイング等の実施

国際大会やオリンピック競技大会等のパブリックビューイング等、大規模大会を契機としたイベントの実施に向けて取り組みます。

#### ④スポーツツーリズムの推進

本市が有するスポーツ資源の利点と、観光・文化を連動させることで、本市の新たな魅力を生み出し、イベントの誘致と開催につなげます。また、選手団の受入体制を整備し、スポーツツーリズムの推進を図ります。

##### ア スポーツと観光・文化の融合

世界文化遺産・国宝姫路城や書寫山圓教寺をはじめとする歴史的建造物や観光資源を活かしながら、スポーツと観光・文化を融合してスポーツツーリズムへの取組を進め、地域経済や国際交流の活性化を図ります。

##### イ 受入体制の強化

ひめじスポーツコミッションや公益社団法人姫路観光コンベンションビューローを通じて、交通事業者や宿泊業者、旅行会社等と連携し、国内外から本市を訪れる選手団の負担を軽減できる支援体制づくりに取り組みます。

東京 2020 オリンピック競技大会やバレーボールネーションズリーグにおける海外選手団の受入実績を活かし、アマチュアスポーツだけでなく、プロスポーツや国際試合等の国内開催時においても、積極的に合宿の誘致を働きかけます。また、受入時には、選手団と市民との交流を推進します。

## (2)「感動」を与える環境づくり

### ①スポーツ施設の整備・管理

施設の老朽化対策と合わせて、ユニバーサルデザインの理念に基づくバリアフリー化を進め、誰もが利用しやすい施設環境の整備を進めます。また、民間活力を積極的に導入し、効果的かつ効率的な施設運営を目指します。

#### ア 持続可能な施設管理

既存スポーツ施設の長寿命化を図るため、計画的な改修を実施するとともに、照明のLED化などを通じて維持管理費の削減を図ります。

#### イ 施設のユニバーサルデザイン化の推進

洋式トイレやスロープ、多目的室の整備など、ユニバーサルデザインに基づくバリアフリー化を計画的に進めます。また、施設の改修などの機会を捉え、キッズスペース、授乳室の設置や、障害者専用駐車場の拡充に努めます。

#### ウ 民間活力の活用

指定管理者制度の一層の活用や、民間事業者によるスポーツ施設の運営委託を推進し、専門的視点からの効果的な施設管理を図ります。

#### エ 公共施設予約システムの活用

各スポーツ施設の混雑状況等の情報をリアルタイムで発信し、利用者の利便性向上と利用機会の平準化を図ります。

#### オ 施設の適正配置

施設整備にあたっては、スポーツ施設の統廃合や集約化、多目的利用を可能とするなど、効率的な施設配置に取り組みます。また、播磨臨海地域道路整備計画の進捗状況も見据えながら、長期的視点での施設の適正配置を進めます。

## ②手柄山新スポーツ施設の活用

令和8年(2026年)10月に供用開始予定となっている手柄山中央公園の新体育館とプールは、本市スポーツの中核施設として位置づけられています。新体育館は、大規模なスポーツ大会の開催が可能で、バレーボールやバスケットボール等の競技に加え、武道にも対応できるよう設計されています。プールは、全天候型の50mプールと25mプールを設けて水泳大会の開催が可能であるとともに、レジャープールを併設します。

大規模大会や競技スポーツの拠点として、また、市民の健康増進やレクリエーション需要にも応える施設として活用を図ります。

### ア 大規模スポーツ大会や新種目の誘致

国際大会や全国大会、一流のアスリートを招いた大規模イベントが開催可能となるため、新体育館等を本市の魅力として、指定管理者と連携しながら、大会主催者等へ積極的に発信し、誘致します。また、新体育館では、eスポーツの大会等これまで本市に誘致できなかった大会の開催が可能のため、新たな競技者層や観客を市内外から取り込み、スポーツを通じた交流人口の拡大とさらなる活性化につなげます。

### イ スポーツ拠点としての環境整備

新体育館及びプールが既存のスポーツ施設の機能を補完・拡充することで、公園内のスポーツ施設が一体となって「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」のすべてを実現できる環境を整えます。

また、誰もが不便を感じることなく利用できるよう、ユニバーサルデザインに対応するとともに、キッズルームを設置するなど、子育て世代も利用しやすい施設整備を行います。

### ウ レクリエーションの場としての活用

子どもから高齢者まで、様々な人が気軽に健康づくりができるレクリエーション空間として整備した屋外付属プールや多目的広場の活用を図ります。

### ③トップチーム支援

トップチームのプレーを間近で観戦し、アスリートとふれ合うことは、市民、特に子どもものスポーツに対する憧れや強い動機づけとなり、競技スポーツの推進や、生涯スポーツの裾野の拡大に寄与します。各チームとの連携を一層強化し、地域を挙げてトップチームを応援していく機運を醸成します。

#### ア トップチームのPR

JR姫路駅前等でのPR動画の放映を継続しつつ、より効果的なPRができるよう、放映内容や放映場所を検討します。また、市役所本庁舎1階市民ロビーの展示コーナーの展示内容についても、さらに魅力的な展示になるよう工夫し、より一層のPRに努めます。

#### イ トップチームによるスポーツ教室の実施と開催支援

市主催のスポーツイベントにトップチームの選手を招き、実技指導やふれ合いの場を設けます。また、子どもに夢を与え、スポーツ実施への意欲が向上するよう、トップチーム主催の学校訪問やスポーツ体験教室等を積極的に支援します。

#### ウ ホームゲーム等における連携協力

トップチームのホームゲーム開催時には、ひめじスポーツコミッションを通して試合観戦を市民に働きかけます。また、会場の確保や開催情報の周知などを行い、チームの活動を支援します。

### (3) 競技スポーツの推進

#### ①競技力向上に向けた環境づくり

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする様々な国際大会の開催を契機に、市民の競技スポーツへの関心が一層高まっています。この機運を活かし、競技力向上に向けた取組を加速させます。

##### ア 各種目団体選手強化事業の推進

現在、市スポーツ協会には 36 種目団体が加盟し、各団体において選手の育成・強化に取り組んでいます。競技力の向上と選手強化に資する事業に対し、協会から補助金を交付しており、今後も継続して支援を続けます。

##### イ スポーツメディカル事業の実施

競技者のパフォーマンスの向上を図るとともに、スポーツ時の事故を防止し、安全にスポーツ活動に取り組めるよう、医学やトレーニングの視点から競技者や指導者に対する実技指導を軸とした研修会（スポーツメディカル事業）を開催します。スポーツ科学の分野で大学等と連携を検討しつつ、競技者が安心して競技に取り組むことができる環境の整備を目指します。

##### ウ トップアスリートスポーツ教室の実施

オリンピック等のトップアスリートに講師になってもらい、小・中学生を対象としたスポーツ教室を開催しています。技術力の向上だけでなく、子どもに夢や希望を与え、未来のトップアスリート育成のきっかけになる事業として、継続して実施します。

##### エ スポーツ表彰の実施

スポーツ表彰は、大会で一定の成績をおさめた選手や団体等の功績を称える制度として、市民のスポーツへの関心と意欲を高めるほか、競技スポーツの発展に寄与する役割を担っています。アスリート・指導者を広く市民に披露し、市を挙げて応援していく機運を高めます。

##### オ ジュニア期からの一貫指導体制の検討

運動部活動の環境整備や合同強化練習会の実施、一貫した指導体制づくりに向けては、教育委員会との連携が必須です。中学校部活動の地域移行など、学校体育を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後の連携体制については柔軟に検討していきます。



## ②競技スポーツ支援のための環境づくり

競技スポーツを推進するため、将来にわたり質の高い指導が受けられる環境づくりを進めます。

### ア 競技スポーツを支える人材の育成

審判員やスポーツトレーナー、スポーツ指導者等、競技運営や競技者のサポートを担う人材を養成します。また、資格取得への支援制度の創設や、実務研修の場の提供などを行います。

### イ スポーツ・インテグリティの確保

スポーツ・インテグリティは競技の価値や魅力、スポーツ界の社会的信頼、次世代育成など、競技スポーツを支える根幹に関わる重要な概念です。競技の公正性・透明性を担保することが、スポーツの魅力や価値を高めることから、競技団体に対し、コンプライアンス体制の構築を促し、不正を許さない風土の醸成を図ります。

### ウ 大会会場・練習場所の環境整備

様々な競技に対応した手柄山新スポーツ施設を整備するとともに、各施設において最新の競技スポーツの基準やパラアスリートの利用に配慮した改修を推進することで、大会会場や練習場所の環境整備に取り組みます。